

「有田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定

町は、進行する人口減少と少子高齢化に歯止めをかけ、魅力と活力あるまちを実現するため、まち・ひと・しごと創生法に基づき「有田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

地方創生に向けた取り組みがスタートしています

少子高齢化の進展に対応し、人口減少に歯止めをかけるために、国は平成72(2060)年の展望人口を1億人とする「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、それを実現するための具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定。本年度から、地方創生に向けた取り組みを本格的にスタートさせています。

2060年の目標人口を1万6000人程度に

有田町の人口は、昭和60(1985)年をピークに減少傾向が続いており、現在は2万人をどうにか維持しているものの、1万人台となる日も目前という状況です。

こうした中、町は人口減少を緩やかにしながら、「まち・ひと・しごと創生」を推進するための「有田町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」を策定し、「2060年の将来

目標人口1万6000人程度」を掲げました。

また、地域資源など町の強みを最大限に生かしながら将来目標人口を達成するため、4つの基本目標とそれぞれの方向性を定めた「有田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年12月末に策定し、取り組みを始めています。

■人口動向における有田町の傾向

- ・昭和60年をピークに、町人口は減少に転じている。
- ・昭和55年から平成22年にかけて、14歳以下の年少人口は約46%減少、15〜64歳の生産年齢人口は約20%減少、65歳以上の老年人口は111%増加。
- ・平成26年における人口移動の状況は、福岡県への転出超過が最も多く、一方、転入による超過は伊万里市ながらも多い。

■転入者・転出者アンケート結果(平成26年度)

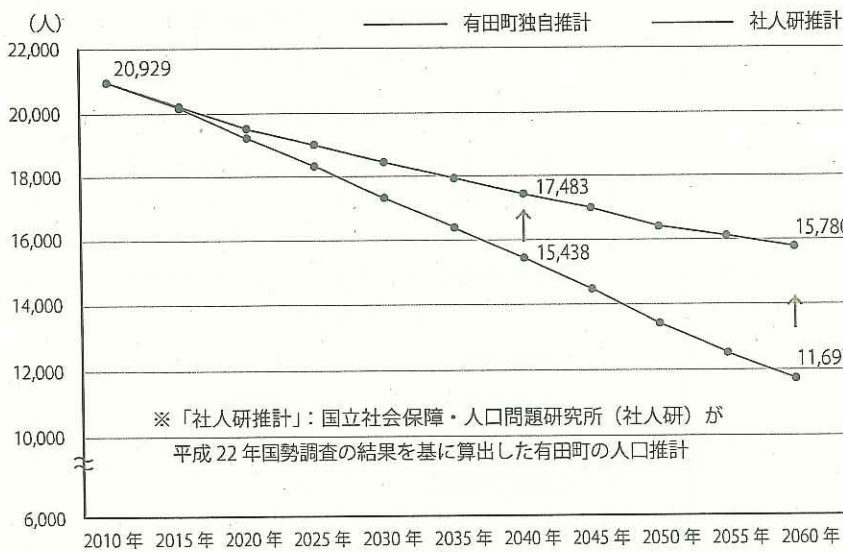
・今後のまちづくりへの期待としては、「子育てしやす

いまち」「保健・医療・福祉の充実したまち」の順で高い。

■定住に関する高校3年生年代アンケート結果

・「有田町に住み続けたい」と「一度は出て、有田に戻って住みたい」人は約半

分。
・有田の魅力としては「自然環境が豊か」「歴史的資源」の順。
・10年後の町の姿として望むのは「自然や歴史的資源を活かした特色ある町」「高齢者が暮らしやすい健康・福祉の充実した町」の順。



※「社人研推計」：国立社会保障・人口問題研究所(社人研)が平成22年国勢調査の結果を基に算出した有田町の人口推計

2060年の人口1万6000人程度を目標

町では、今後総合戦略の取り組みにより、出生率の上昇、観光戦略推進によるにぎわいづくり、若い世代の定住促進などを進めます。

有田町の地域資源や特色を最大限に生かした 幸せ実感「陶農都」

■戦略の期間など

- ・平成27(2015)年度から平成31(2019)年度までの5年間。
- ・総合戦略は、「有田町まち・ひと・しごと創生推進本部」や「有田町まちづくり戦略会議」などで定期的に取り組みを検証し、改善する仕組みをつくり、必要に応じて戦略の見直しを行います。

【基本目標1】 仕事づくり

安心して働ける 魅力ある雇用を創出する

地域製品の生産性の向上、高付加価値化、担い手育成、地域経済好循環への取り組みなどによる雇用の拡大を図ります。働く場の創出に向けた取り組みにより、定住人口の増加を目指します。

<数値目標>

雇用創出 100人(期間累計)
新規認定農業者 10人(期間累計)

<施策の方向>

- ①有田の地域資源を活かした新産業の創出・起業・交流の促進
- ②商工業の振興と後継者育成
- ③有田発「心・感・鮮」、特色ある農林畜産業の振興

【基本目標2】 定住・交流促進

行ってみたい 住みたいまちをつくる

歴史、産業、自然、文化などあらゆる地域資源を最大限に生かすための磨き上げを行うとともに、“有田の宝”を広く情報発信し、移住・定住・交流人口の増加を図ります。

<数値目標>

移住世帯数 30世帯(期間累計)
観光入込客数 250万人(期間累計)

<施策の方向>

- ①移住・定住「いいね!有田暮らし」の促進
- ②観光戦略推進によるにぎわいづくり

【基本目標3】 結婚・出産・子育て応援

若い世代が希望を持って 結婚・出産・子育てできる 環境をつくる

進学や就職で転出しやすい世代が戻りやすく、他市町村から若い世代が転入しやすい子育て環境の整備を進め、有田町の子育て環境が評価され、子育て世代が増えていく町を目指します。

<数値目標>

合計特殊出生率 1.75(平成31年)

<施策の方向>

- ①安心して結婚・妊娠・出産ができる環境づくり
- ②“子育ての輪”づくり
- ③ふるさとに誇りと愛着を感じる特色ある教育の推進

【基本目標4】 地域活力創造

ひとつつながる 安全・安心な地域をつくる

幅広い世代がつながり、高齢者の方々が生涯現役で楽しく暮らしていくための活躍の場を創出すると共に、住んでいる人が暮らしそのものを楽しみ、人とのつながりの中で安心して生活できるまちを目指します。

<数値目標>

町民の暮らしやすさ満足度調査
80%(平成31年)

<施策の方向>

- ①ひとつつながる、キラッと光る地域づくりの推進
- ②健康で安心して暮らすことのできる地域づくり
- ③広域的な連携強化の推進